



## 地域団体の皆さんと バス停に、ベンチ設置を!!

要望の中でもバス停へのベンチ設置を求める声は特に大きいのですが、進展しない課題の1つです。その理由として、過去の議会での市の見解では、以下の2点があげられています。

① 歩道は行き交う歩行者や車いすなどの妨げにならないよう、十分な幅の確保が必要であり、この条件を満たしたバス停は数少ない状況である

② ベンチを設置するバス事業者としても、安全確保や日常清掃などの維持管理が負担となっている  
そこで、岩堀けんしは②に着目し、他市の事例を調べ、提案をしました!

例えば福岡市では、**従来バス事業者に限定していたベンチの設置(占有)許可を、一定の管理体制の確保のもと、自治会や商店街などの地域団体へ拡大する取り組み**をしています。



ベンチ設置の要望が強く、市民活動が活発な松戸市にもこの手法を応用することで、ひとつでも多くのバス停にベンチを置けるのではないのでしょうか。

従来の発想にとらわれることなく、自治体や地域住民と力を合わせ、知恵をしぼることで、これまで不可能と考えられていたことでも、実現できるのではないかと考えています。

今回「ベンチのある街づくり」の提案について紹介しましたが、特に長寿社会では、**健康寿命を延ばす視点からも、ウォーキング(歩くこと)の大切さが**説かれています。

**ご高齢者の方々が、積極的に買い物や散歩にでかけたくなるようなハード面からの道づくり・街づくりは、今後ますます大切な視点**であると岩堀けんしは考えます。

皆様が生活する中で、「これがあると助かる!」「ちょっとここが不便だ」といったご要望があれば、今後もし是非お聞かせください!

### 市役所は組織課題の克服を!

岩堀けんしは、今回のテーマのように、行政各課や部局間にまたがるような政策の提案をすることが多くなっております。しかし、松戸市役所の現状の組織体制では、いわゆる縦割りの弊害により、新たな政策の立案や問題解決がしにくいのではないかと、議会の場で指摘させて頂きました。ひとつの部署だけで解決できる課題が少なくなっている時代、どのように部局間で横断的に考えていくかが、組織を活性化させる鍵ではないのでしょうか。

市役所は、**そうした問題意識を持つ若手職員や、やる気のある職員がどんどん活躍できる組織、そして、部局横断的に課題を見つけ、市民が望む政策を自ら生み出すような、意欲的な組織**であってほしいと、岩堀けんしは強く訴えています。

### プロフィール

- 昭和47年  
松戸市栗ヶ沢生まれ
- 栗ヶ沢小・中学校卒業
- 江戸川学園取手高校・  
千葉商科大学卒業
- 平成10年  
松戸市議会議員選挙初当選
- 2期務めるも、わずか125票届かず3期目惜敗
- その後、特養老人ホーム介護職に従事、介護福祉士となる
- 平成22年11月3期目再選  
平成24年12月より一年間、「松戸市監査委員」に就任
- 平成26年11月4期目再選

家族 妻・娘(1歳)  
(3月末に第二子誕生予定)



グランドゴルフでご近所の皆さんと健康づくり!